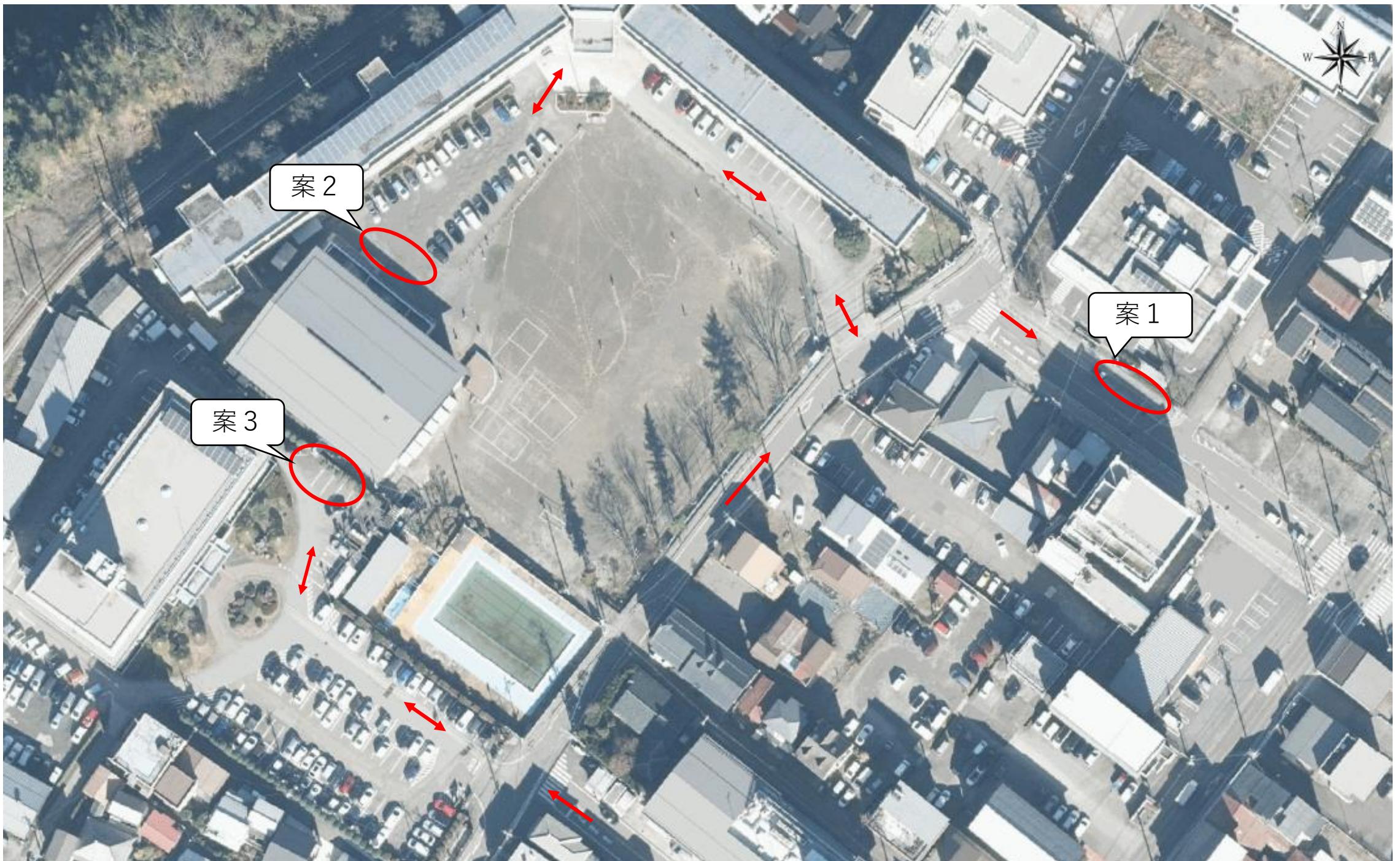


都留文科大学附属小学校と谷村第一小学校の統合に向けたスクールバス運行協議

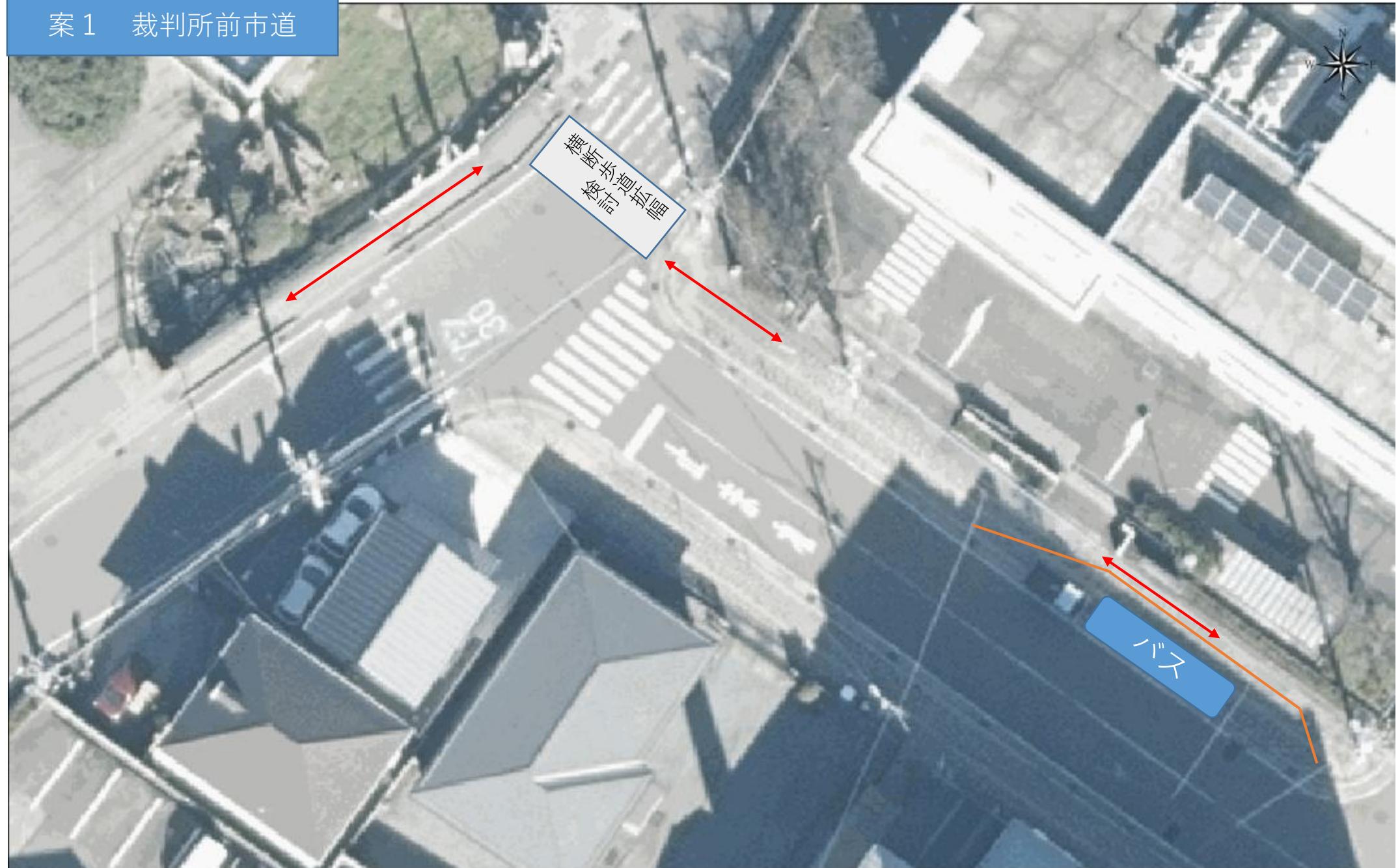
1. 谷村第一小学校側乗降場所の検討

スクールバス検討部会

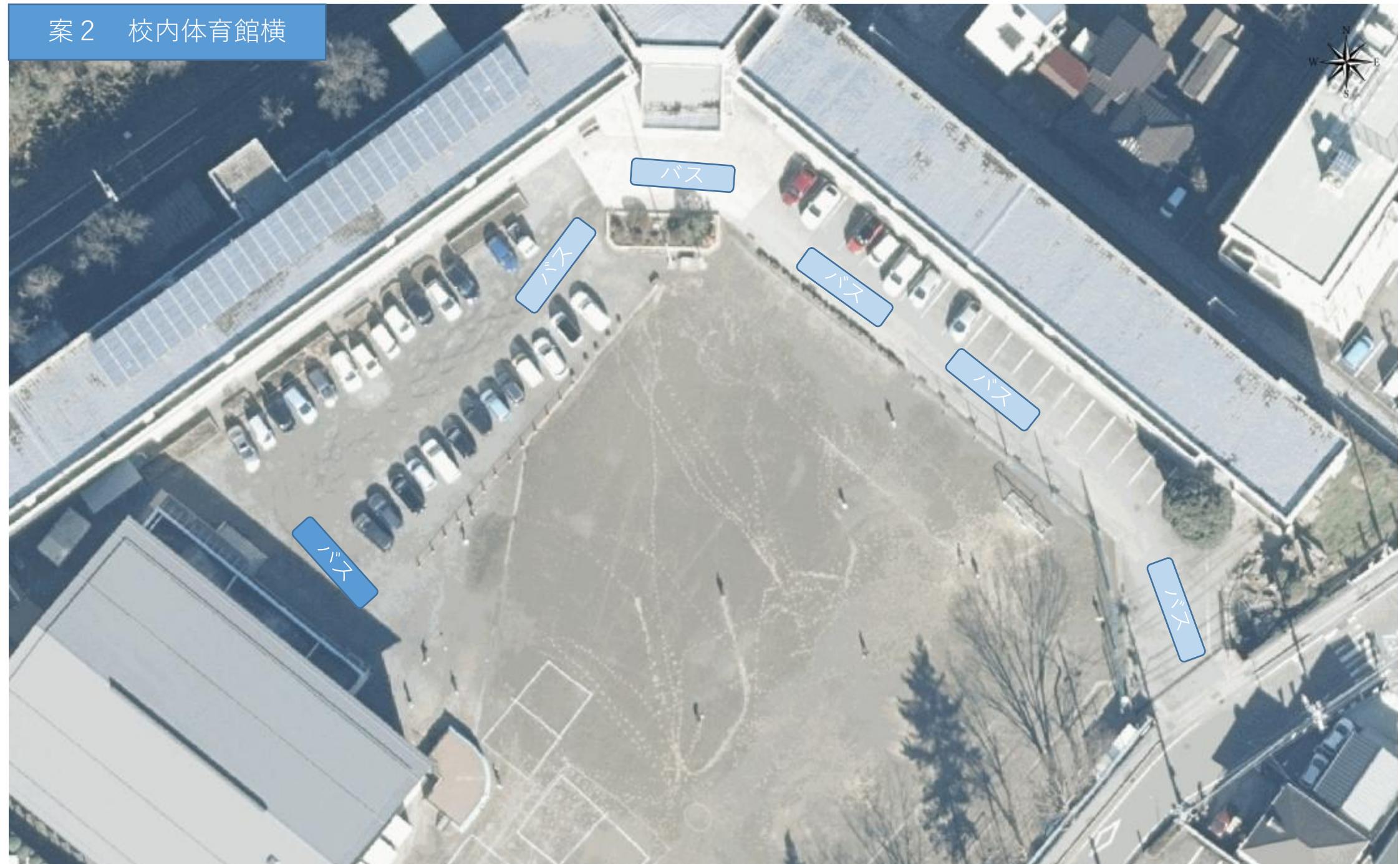
候補場所	メリット	デメリット	課題	学校側の意見	安全面	コスト面
案1 裁判所前市道	<ul style="list-style-type: none"> 道路幅が広く乗降ゾーンが確保できる。 歩道の小規模改良のみで、費用は抑えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗降場所の設置により歩道が狭隘になり、歩行者の通行に影響する。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗降場所から学校までの間の安全管理 学校前交差点の横断歩道等の改良 下校時の乗車予定児童の見守り 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道を削り込んだ乗降場所のため、バス停側の歩道を通学する児童への影響や、校門までの安全性において不安がある。 教員の対応も負担が大きい 	○	○
案2 校内体育館横	<ul style="list-style-type: none"> 学校敷地内で乗降できるので、バス乗降の利便性が高い。 特に改修の必要性はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の出入りが多い正面玄関前をバスが往来し、体育館横で方向転換するため、安全面に不安がある。 	<ul style="list-style-type: none"> バス侵入時の安全管理 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の動線が教職員の車両やバスの動線と交錯するリスクが高い 	△	◎
案3 市役所駐車場 元気くん前	<ul style="list-style-type: none"> 体育館横から乗降場所へ直接出入りできるルートがあるため、安全が確保できる。 バス停車スペースの表示塗装のみで費用が抑えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> バスの停車場所を確保するため、市役所駐車スペースが4台分潰れる 	<ul style="list-style-type: none"> 市役所駐車場が混雑する際のバス侵入時の影響 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の安全面と教員対応の面で最適 	◎	◎



案1 裁判所前市道



案2 校内体育馆横



案3 市役所駐車場元気くん前



2. 運行ルートの検討

運行ルート案		課題	対策
①	県道のみのルート	<ul style="list-style-type: none"> 下校時の八幡橋バス停の降車場所が危険 八幡橋バス停付近の県道の歩道が狭い 	<ul style="list-style-type: none"> 乗降場所を鍛冶屋坂トンネル方面に約50m移す 横断歩道等の設置を検討
②	権現原団地経由ルート	<ul style="list-style-type: none"> 対向車とのすれ違いが困難な場所が約8か所ある 対向車が2tトラックの場合、すれ違いが難しい 中型以上のバスは× マイクロバス（車幅2.1m）は△ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民にバス運行ルートと運行時間を周知 運行車両の小型化
③	中小野公民館前ルート	<ul style="list-style-type: none"> 対向車とのすれ違いが困難な場所が約4か所ある 対向車が2tトラックの場合、すれ違いが難しい 中型以上のバスは× マイクロバス（車幅2.1m）は△ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民にバス運行ルートと運行時間を周知 運行車両の小型化

※スクールバスと対向車とのすれ違いが困難な場所が多数存在することを考慮し、①の案を基本とする。